



タケダのカーボンフットプリントを理解する

# タケダは温室効果ガス（GHG）排出量削減に取り組んでいます

自社の事業活動による排出（**スコープ 1 および 2**）を 2040 年にゼロとし、またサプライヤーの温室効果ガス排出量の大幅削減にも協力して取り組み（**スコープ 3**）、検証済みのカーボンオフセットによって残りの排出量を相殺します。

タケダのグローバルでの現在の温室効果ガス総排出量\*は 4,500,000 トン：

7% 約 306,000 トン  
スコープ 1

工場、オフィス、車両での石油や天然ガスのような化石燃料の燃焼など、所有または管理下にあるソースからの直接排出



6% 約 270,000 トン  
スコープ 2

施設に供給される電力や蒸気などの購入エネルギーの生成による間接排出



87% 約 3,900,000 トン  
スコープ 3

バリューチェーンで発生するすべての間接排出（スコープ 2 に含まれるもの以外）

上流：購入または取得した製品やサービスに関連する間接排出

- 購入した製品・サービス
- 輸送、配送
- 資本財
- 燃料およびエネルギー関連活動
- 通勤
- 出張
- リース資産



下流：販売した製品やサービスに関連する間接排出

- 製品の生産終了
- 固形製品の加工
- 廃棄物の発生
- 輸送、配送
- 移動
- リース資産



\*データは 2018 年度の旧タケダの事業および 2018 年の旧シャイアー社の事業によるものを示しています

当社は気候変動への影響削減に取り組んでいます。  
すべきことはたくさんありますが、それはつまり、  
私たちは変化を起こすことができるということです。